

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品コード)	: 接点復活剤ドライ(洗浄タイプ)	(記号: CR-D・品番: A461)
会社名称	: 株式会社 和光ケミカル	
住所	: 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1	
電話番号	: 0465-48-2211(代)	
FAX 番号	: 0465-49-1951	
緊急連絡電話番号	: 技術部(電話: 0465-48-8114)	
推奨用途及び使用上の制限	: 電気接点等の金属部品洗浄用【業務用】	
作成日	: 2002年7月1日 (2022年4月1日 改訂第14版)	
整理番号	: A461-J14	

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	エアゾール	区分3
	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3
	※記載のないものは区分に該当しない、または分類できない。	

絵表示又はシンボル なし

注意喚起語 警告

危険有害性情報

- H229: 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
- H402: 水生生物に有害
- H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P251: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P273: 環境への放出を避けること。

【応急措置】

【保管】

- P410+P412: 日光から遮断し、50℃以上の温度でばく露しないこと。

【廃棄】

- P501: 内容物/容器を国際条約や国/都道府県/市町村の規則に従い廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
• フッ素系溶剤	企業秘密の為記載できない。
• 噴射剤(CO ₂)	企業秘密の為記載できない。
危険有害成分及び含有率	: 化審法、安衛法の危険有害成分を含有しない

4. 応急措置

眼に入った場合	: 直ちに清浄な大量の水で15分以上洗眼する。速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	: 付着物を布にて素早く拭き取り、大量の水で洗い流してから石けんで皮膚を洗浄する。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には専門医の手当てを受けること。
吸入した場合	: 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませない様にする。速やかに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 吐かせずに口の中を水ですすぎ、安静にして直ちに医師の手当てを受けること。 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火方法	: 通常の条件では引火性は無いと考えられる。 加熱した面に噴霧すると、成分中のフッ素化合物が分解することでHF・COF ₂ などの有毒なガスが発生するので、発生したガスを吸引しないよう注意して消火を行う。
消火剤	: アルコフォーム、二酸化炭素

6. 漏出時の措置	<p>: 風上から作業を行い、風下の人を退避させる。 漏出した場所の周辺にロープ等で立ち入り禁止措置を講じる。 付近の着火源となるおそれのあるものを速やかに取り除く。 作業の際には必ず保護具を着用する。 回収作業においては、火花を発生しない安全な器具を使用する。 少量漏れたときは、おたくず、ウエス、砂等吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 大量に漏れたときは、土のう等で流出を防止して液の表面を泡等で覆い、空容器に回収する。</p>
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	<p>: 換気の良い場所で取り扱う。 : 周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。 : 静電気対策を行ない、作業衣、作業靴は導電製のものを着用する。この物質は静電気帯電する傾向があるので注意する。 : 吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業する。 : 換気の悪い場所での作業時には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業する事。</p>
保管	<p>: 容器は直射日光を避け、通風の良い暗所に保管する。 : 火気、熱源から遠ざけて保管する。 : 酸化性物質、有機過酸化物など同一場所に置かない。</p>
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	: 設定されていない。
許容濃度	: 設定されていない。
設備対策	<p>: 換気が充分に行えるようにすること。屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。 : 取扱場所の近くには、高温体や発火源となるものが置かないこと。</p>
保護具	呼吸用保護具
	保護眼鏡
	保護手袋
	保護衣
	<p>: 有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器 : ゴーグル型、防災面 : 耐油性保護手袋 : 保護長靴、保護服、保護前掛け</p>
9. 物理的及び化学的性質	
状態	: 液体
外観	: 無色透明
臭い	: オレンジ臭
融点	: データなし
凝固点/流動点	: -20℃以下
沸点	: 40℃以上
引火点	: なし
発火点	: データなし
爆発範囲	: なし
蒸気圧	: データなし
蒸気密	: データなし
液密度(25℃)	: 1.4 g/cm ³
溶解性	: 水に不溶
オクタノール/水分配係数	: データなし
10. 安定性及び反応性	
安定性・反応性	: 通常の実験条件において安定。
可燃性	: 通常の実験条件ではなし。
自然発火性	: なし
酸化性	: なし
自己反応性・爆発性	: なし
その他	: 加熱した面に噴霧すると、成分中のフッ素化合物が分解することでHF・COF ₂ などの有毒なガスが発生するので、吸引しないよう注意する。

11. 有害性情報	<p>製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよびGHS区分より判定した。 記載無きものはGHS分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。</p> <p>急性毒性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 皮膚腐食性/刺激性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 呼吸器感作性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 皮膚感作性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 生殖細胞変異原性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 発がん性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 生殖毒性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 誤えん有害性 : 成分および組成より区分に該当しないと判断した。 その他 : 加熱した面に噴霧すると有毒なガスを発生し、それを吸引すると呼吸器系に痛みを感じ、頭痛などインフルエンザに似た症状を呈することがある。</p>
12. 環境影響情報	<p>製品としてのデータはない。成分ごとのデータおよびGHS区分より判定した。 記載無きものはGHS分類でカットオフ値以下のものか、知見なし、あるいはデータなし。</p> <p>生態毒性 水生環境有害性 短期(急性) : 成分および組成より区分3と判断した。 水生環境有害性 長期(慢性) : 成分および組成より区分3と判断した。 残留性・分解性 : 成分中のフッ素系溶剤は難生分解性である。 生体蓄積性 : 現在のところ有用なデータなし。 土壌中の移動性 : 現在のところ有用なデータなし。 オゾン層への有害性 : オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書リストに掲載なし。 地球温暖化係数 (IPCC5 次レポート) : 噴射ガス 1、内容液 <150</p>
13. 廃棄上の注意	<p>1. 事業者は産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>2. 投棄禁止</p> <p>3. 埋め立て処分を行う場合には、あらかじめ焼却し、その燃え殻について下記の物質が総務省で定めた基準以下であることを確認しなければならない。 銅またはその化合物、亜鉛またはその化合物、ふっ化物、アルキル水銀化合物、水銀またはその化合物、ヒ素またはその化合物、六価クロム化合物、有機りん化合物、鉛またはその化合物、カドミウムまたはその化合物、シアン化合物、PCB。</p> <p>4. フッ素を分子中に含有する物質であり、みだりに焼却処分しないこと。もし焼却処分する場合は、安全な場所で、かつ燃焼または爆発によって他に危害または損害を及ぼすおそれのない方法で行うとともに、見張り人を付けること。</p> <p>5. 廃棄時における関係法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 ・ 危険物の規制に関する政令 ・ 金属等を含む産業廃棄物に関する判定基準を定める環境省令 ・ 特定製品にかかわるフロン類の回収および破壊の実施の確保に関する法律 ・ 地球温暖化対策の推進に関する法律
14. 輸送上の注意	<p>注意事項 : 取り扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の内容に積み込み、荷崩れ防止を確実にこなうこと。</p> <p>国連規制 : 国連番号…UN1950 国連分類…Class 2.2 (不燃性エアゾール) 容器等級…— 指針番号…126 海上輸送に関してはIMO、航空輸送に関してはICAO/IATAの規定に従う。</p> <p>国内規制 : 陸上輸送…消防法、安衛法などに定められている運送方法に従う。 海上輸送…船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送…航空法に定められている運送方法に従う。</p>

15. 適用法令	労働安全衛生法	: 非該当
	化管法 (PRTR 法)	: 非該当
	毒物及び劇物取締法	: 非該当
	消防法	: 危険物 非該当
	高圧ガス保安法	: 適用除外 (エアゾール)
	船舶安全法	: 危険物 (高圧ガス)
	航空法	: 危険物 (高圧ガス)
	海洋汚染防止法	: ばら積み貨物でないので製品としては非該当。
	オゾン層保護法	: 非該当
	地球温暖化対策法	: 2条第3項第4号 (ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの)
	化学兵器禁止法	: 特定有機化学物質 (有機フッ素化合物) に該当

16. その他の情報	RoHS 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
	ELV 指令有害物質	: いずれも意図的な含有なし
	引用文献	: ①原料メーカーSDS・MSDS ②製品評価技術基盤機構ホームページ ③法律に関するホームページ

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものです。取扱者はこれを参考とし、自らの責任において個々の取扱の実態に合わせた処置を講ずることが必要であり、これを理解した上で活用して下さい。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。